

社会課題、高校生が解決策

高校生が身近な課題の解決策を発表する「政策甲子園in加古川」が8月8日、

加古川市議会議事堂(加古川町北在家)で開かれる。

加古川青年会議所(JC)が、主権者教育の一環として初めて企画。加古川市、

稲美、播磨町の高校生が対象で、応募は6月30日まで。

考える過程も学びの一つと位置付け、JCメンバーが応募を検討する生徒に助言を行っている。

加古川JCは主権者教育に取り組んでおり、5月16日にはカードゲームで政治

や投票を学ぶ催しを開く。芝本航理事長は「低投票率

もあり、社会が若者の声を拾えていない。自分たちの意見が社会に反映される体験をしてほしい」と話す。

加古川南高校(加古川町友沢)では、総合的な探究の時間で地域課題を考える

「政策甲子園」8月開催

加古川JC、参加校を募集



「政策甲子園in加古川」への出場を目指し、自分たちの考えを発表する加古川南高校の生徒ら。加古川市加古川町友沢

2年生20人が応募を検討。

4月28日にはJCメンバーが授業に参加し、発表に向けてアドバイスを行った。

生徒が提起した「部活動の地域展開を見据え、総体に

代わる大会を作りたい」

「観光客が集中する」オーバートゥリズム改善のため、姫路や神戸に来たインバウンド(訪日客)を加古川に呼びたい」などの課題

について一緒に考えた。

保育士を目指す甲本結奈さん(17)は保育士不足が課題だと考える。「なり手を増やす方法を考えていただけ、」自分が保育士になつた時に必要な支援を考えたら」と言われて、なるほどと思った」と話した。

政策のテーマは「市長・町長になつたときに実現したいこと」。応募は個人か数名のグループで。タイトルや概要などをまとめて6月30日までに提出するQRコード。書類審査を経た10チームが政策甲子園に出



場。最優秀賞のほか、加古川市長、同市議会議長、東播磨県民局長がそれぞれ特別賞を選ぶ。

同JC次世代育成委員会の米澤沙樹さん ☎090・3486・3920

(中川 恵)